

慣用句の意味と使い方

基礎～標準

意味を選ぼう 最も適切なものの記号に○をつけなさい。

問1	「甘いものに目がない」の意味として最も適切なものはどれですか。	ア よく見えない	イ とても好きである	ウ 注意力がない
問2	「鼻が高い」の意味として最も適切なものはどれですか。	ア においに敏感である	イ 緊張している	ウ 得意で誇らしい
問3	「腕を上げる」の意味として最も適切なものはどれですか。	ア 技術や能力が上達する	イ 力仕事を始める	ウ 腕を高く持ち上げる
問4	「首を長くする」の意味として最も適切なものはどれですか。	ア 緊張して身構える	イ 今か今かと楽しみに待つ	ウ 周囲を注意深く見回す

文に合う慣用句 文に合う慣用句の記号に○をつけなさい。

問5	先生から大会の代表に選ばれたと聞き、美咲は自信をもってみんなの前に立った。この様子に最も合う慣用句はどれですか。	ア 頭を抱える	イ 耳を傾ける	ウ 胸を張る
問6	弟が何度注意しても同じいたずらを繰り返すので、家族は対応に困っている。この状況に最も合う慣用句はどれですか。	ア 手を焼く	イ 足を運ぶ	ウ 顔が広い
問7	結果発表で自分の名前を見つけ、心配していた健太はほっとした。この気持ちに最も合う慣用句はどれですか。	ア 腹が立つ	イ 胸をなで下ろす	ウ 目を丸くする
問8	先輩は忙しいのに、困っている一年生の相談に最後まで付き合ってくれた。その姿には本当に感心する。この気持ちに最も合う慣用句はどれですか。	ア 口を出す	イ 足が棒になる	ウ 頭が下がる